

二〇二六年度

入学試験問題

(二月四日午前)

国語

- 一 開始の合図があるまで問題用紙・解答用紙にふれないでください。
- 二 開始の合図があったら、最初に問題用紙六ページ、**解答用紙二枚**を確認してください。
- 三 解答用紙に受験番号と氏名を記入してから始めてください。
- 四 問題についての質問は受け付けません。印刷のはっきりしないところや用事があるときは、声を出さずに手をあげてください。
- 五 字数が指定されている問題は、記号・句読点も一字として数えてください。
- 六 問題用紙は回収しません。
- 七 筆記用具の貸し借りはしないでください。
- 八 試験時間は五十分です。終了五分前になったら知らせます。
- 九 答案を書き終わっても座席からはなれないでください。

一

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（設問の都合上、本文を改めた箇所があります。）

スギは幹が垂直に伸びる性質が強く、無理に曲げても、その上からまっすぐになります。材の性質で曲がりにくいのです。この性質は、家の柱に向いています。日本の伝統的な家の建て方は、柱で家を支える方法でした。この建て方にスギ材はぴったりなのです。

つぎに、植林の方法を検討してみましょう。

学校の校庭に、① 一〇メートル四方の区画をします。ここに二メートル四方の枠内に一本のスギの苗木を植えます。一〇

メートル四方では二五〇〇本植えることができます。山に植える植林の密植率は、スギやヒノキでは二〇〇〇〜三〇〇〇本。一〇年くらいは下草刈りや枝打ち、その後は間伐をくりかえします。五〇年後、高さ二〇メートル、直径三〇センチに育ったスギは、六〇〇本くらいが残ります。本数では四分の一が残るので、面積では四メートル四方に一本のスギが生えていることになります。

これが、ブナやケヤキの広葉樹だったらどうでしょうか。条件をそろえるのはむずかしいですが、広葉樹は枝が広がってしまいます。一〇〇メートル四方では、一〇〇本くらいしか健全に育たないでしょう。木材として考えれば、針葉樹の材積分は広葉樹の（あ）倍にもなるのです。

木の性質でも、針葉樹は樹脂に富んでいます。マツヤニのように、スギもヒノキもヤニが出ます。このヤニは、人のリンパ液のよ

うに傷口からの細菌感染を防ぐ役割をします。幹をカミキリムシがかじったり、卵を生んだりしても、ヤニで固めてしまいます。古い形質を残している針葉樹のほうが、病中害に強く、育てやすいのです。とれる材も、広葉樹は板や梁には向きますが、柱には向きません。針葉樹のヒノキは材質がいいのですが、成長がスギより遅く、木材生産の効率では劣ります。

森の民としての先人の知恵は、② スギの植林がもつとも効率がよいということだったのです。

〈中略〉

針葉樹は花らしい花を咲かせません。これは、虫の助けを借りて受粉する方法をとらないためです。針葉樹が進化をしていたときには、昆虫が少なく、受粉に昆虫をあてにできませんでした。もつともあてにできたのが風です。そこで、雌しべに向かってランダムに花粉を飛ばす、風媒という方法にしたのです。風まかせはひじょうに効率が良いため、雌花一つに一億個以上の花粉を雄花穂から飛ばします。そして、たまたま雌しべについた花粉がぶじに実を結ぶことになります。数が多くて遠くまで飛ばすのですから、一つの花粉は小さくなります。アスファルトやコンクリートの上に落ちた花粉は、水分を吸うことができません。また風で舞いあがります。このため、数キロから数十キロも離れた場所からも飛散してくるのです。

人の粘膜は湿っています。鼻は湿っていないと匂いを感じることができません。犬を飼っている人なら、夜眠っている犬の鼻を見たことがあるでしょう。犬の鼻は乾いています。なぜでしょうか。人間は目からの情報に頼っていると書きしました。だから目をつぶらないと眠れないのです。鼻からの匂いに頼って生活している犬は、人の一〇〇〇倍もの嗅覚が発達しているといわれます。③鼻からの情報を切らなければ眠れないのです。

花粉は、粘膜につくと水分を吸ってふくらみます。それを感知して、洗い流そうと鼻水が出るのです。くしゃみ、かゆみなどの症状が出るのはなぜでしょうか。もともと人の体には異物(抗原)が入ってくると、排除するために攻撃する抗体をつくる作用があります。ふつうは無害な物質(たとえば花粉)に対する異常な免疫反応、これがアレルギー反応(過敏性反応)です。肥満細胞というアレルギーを引きおこす物質を生産する細胞から、ヒスタミンという物質が放出されます。このヒスタミンが、くしゃみ、かゆみなどの症状を引きおこす原因といわれています。

自然界のできごとは複雑です。林野庁での事例で、東名高速道路の近くにある国有林で作業にあたる職員には、ひどい花粉症の人が(a)といわれていました。転勤で長野の国有林に移ると、症状が(b)なるというのです。スギの林から(c)都会で花粉症の発生が(d)、スギの植林地で働く人たちにはあまり症状が出ないとも聞きます。頭からスギ花粉を浴びるような環境でも、花粉症にならない人もいるのです。

スギの花粉を浴びる量が花粉症の発病とかならずしも一致しない事例を見ると、スギだけが花粉症の原因と決めつけたような報道には疑問がこります。スギの立場からの発言がないので、あえて言わせてもらいます。

春の花粉症は、スギやヒノキの花粉が症状の引き金にはなりますが、原因のすべてがスギではありません。排気ガスや私たちの体質の変化が大きな要素です。スギの花粉に責任を転嫁させ、花粉の出しスギに植えかえることが、話題になっています。これは本末転倒です。いまや花粉症は春だけでなく、秋にも発生しています。アメリカから侵入したブタクサ、オオブタクサが主犯です。アレルギーは、私たちの体質の変化で、ソバやダイズなどの身近な食品でもおこるようになりました。④スギにだけ責任を押しつけるのは、時代遅れでしょう。もっと本質的な議論と対策が必要になってきたのです。

日本は国土にしめる森林の割合が六七%で、世界の先進国の中では、フィンランドについて第二位。世界に誇れる森林の国です。みなさん、その実感はありますか。森林率が高く維持できているのも、戦後の拡大造林で大量にスギ・ヒノキ林が増えたからです。加えて木材輸入国となり、自国の森を結果的にまもっています。旺盛な木材需要の八割は、海外からの輸入でまかなっているのです。

材価は低迷しているために、民間林業は瀕死の状況です。植林地を皆伐しても、つぎの植林をする余裕がありません。山村の林業は、間伐に対して出ている補助金頼みなのです。見方を変えれば、森に

木材を貯蓄^{ちく}しているともいえます。植林した森では、時間はかかりませんが、豊かな森に遷移^{せん}していきます。

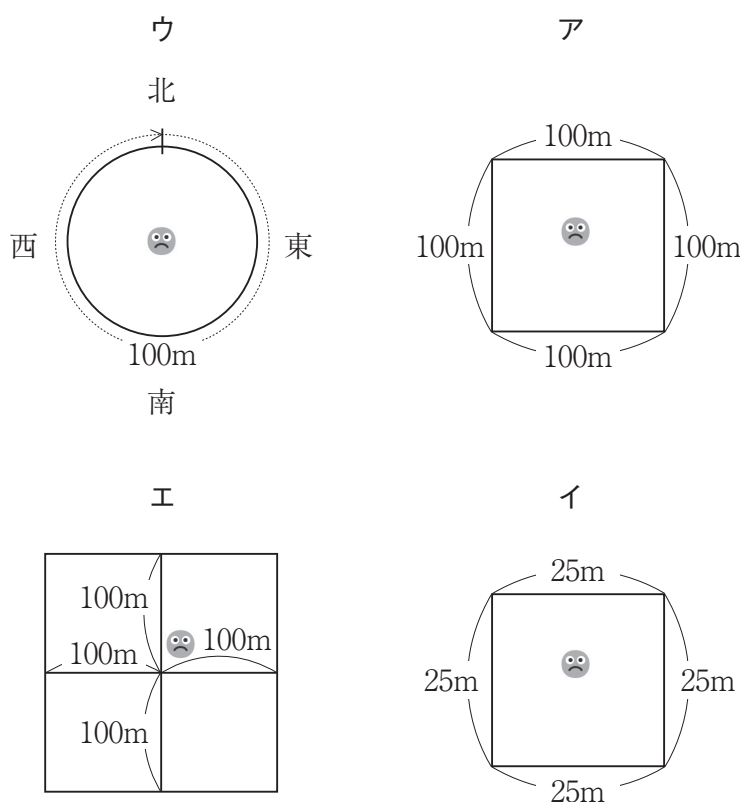
日本の自然環境は、世界の中でも恵^{めぐ}まれた環境であり、⑤ 放置^{はき}していても木が育つのです。ふつう中緯度^{ちゅうい}地域で大陸の中に位置していれば、砂漠^{さばく}になってしまいます。四方を海にかこまれ、ヒマラヤ山脈^{へん}と偏西風^{へんせいふう}の影響^{えいきやう}で梅雨、台風^{たいふう}の雨、気団^{きだん}のせめぎあい^{せめぎあひ}で前線の雨。これらによって、年間平均降水量^{ねんかんへんぐうりやうりやうりやう}が一七〇〇ミリもあるのです。水に恵^{めぐ}まれているから、豊葦原瑞穂^{とよあしのみずほ}の国になり、おいしい米が実^みるのです。水が好きなスギもよく育つことになります。

スギを、花粉症^{かふしん}の原因^{げんいん}と決めつけて嫌^{きら}いにならないでください。日本にスギがなかったら、日本の文化^{ぶんか}もすこし変わってしまうくらい影響^{えいきやう}があるのです。スギから濁点^{だく}をとれば、だれでも（い）になってもらえます。

（石井誠治『樹木ハカセになろう』より）

問一

——線部①「一〇〇メートル四方」とありますが、これを表した図としてふさわしいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。



問二

本文中の（あ）に当てはまる数を漢数字で答えなさい。

問三

——線部②「スギの植林がもつとも効率がいい」とありますが、スギの性質としてふさわしくないものを次のア～オからすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 垂直に伸びる
- イ 曲がりにくい
- ウ 柱で家を支える
- エ 間伐をくりかえす
- オ 樹脂に富んでいる

問四

本文中の□で囲んだ段落の中には一カ所文意が通らない誤りがあります。誤った一字を抜き出し正しい一字を答えなさい。

問五

——線部③「鼻からの情報を切らなければ」とありますが、「鼻からの情報を切る」とはどのようなことですか。二十五字以内でわかりやすく答えなさい。

問六

本文中の（a）（b）（c）（d）に当てはまる言葉の組み合わせとしてふさわしいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア a 多い b 軽く c 遠い d 多く

問七

——線部④「スギにだけ責任を押しつける」とありますが、その結果どのようなことが行われましたか。本文中から十五字以内で抜き出して答えなさい。

- イ a 少ない b 重く c 近い d 少なく
- ウ a 多い b 重く c 遠い d 少なく
- エ a 少ない b 軽く c 近い d 多く

問八

——線部⑤「放置していても木が育つ」とありますが、次のア～エの各文の「くても」の使い方が正しいものには○、間違っているものには×を答えなさい。

- ア たくさん食べてもお腹がすく。
- イ 眠っていても夢を見る。
- ウ 普段から運動していても健康だ。
- エ 前を見ているとも事故を起こす。

問九

本文中の（い）（ろ）に当てはまる言葉を本文中から抜き出して答えなさい。

問十

あなたが何かをくわしく調べてわかった経験を、それを調べようと思った理由とともに二百字以内で書きなさい。

二

次のカタカナの文章を読んで、漢字とひらがなと読点を正しく用いて書き直しなさい。

ニホンジンノシユシヨクデアルコメノカカクガカツ
 テナイホドタカクナツテイルハイケイニハナツノキ
 ビシイアツサハンセイキニワタルセイフノセイサン
 チヨウセイノウギヨウジュシヤノコウレイカナ
 ドノモンダイガアル。サンゼンネンモノアイダニホ
 ンジンノセイカツトトモニアルイナサクブンカヲマ
 モルタメニシヨウヒシヤハマズソレヲノモンダイヲ
 シロウトスルベキダ。

三

次の(1)～(5)の——線部の漢字をひらがなに、(6)～(10)の——線部のカタカナを漢字に改めなさい。

- (1) 容姿がすぐれている人。
- (2) 喜び勇んで出て行った。
- (3) 七夕飾りを片付ける。
- (4) 角笛の不思議な音色。
- (5) 路地裏の喫茶店に入る。
- (6) アンガイやさしい問題だった。
- (7) 古代へのカイキを夢見る。
- (8) 作家の個性がコクインされた作品。
- (9) 国をオサめるえらい人物。
- (10) 事故をふせぐホウサクを考える。

四

次の(1)～(5)のア～エの各文の□に、一つだけ異なる漢字が入るものがあります。それを選び記号で答えなさい。

(1)

ア 焼け石に□
イ 話に□をさす
ウ 飛んで□にいる夏の虫
エ 魚心あれば□心

(2)

ア つめに□をとます
イ 大□玉を食らう
ウ □に油を注ぐ
エ 顔から□が出る

(3)

ア 生き馬の□をぬく
イ 二階から□薬
ウ 金に糸□をつけない
エ □で鼻をくくる

(4)

ア □に竹をつぐ
イ 小□にはさむ
ウ さるも□から落ちる
エ □を見て森を見ず

(5)

ア 立て板に□
イ ^{かべ}壁に□あり
ウ ^ね寝□に水
エ 馬の□に念仏

小計

[illegible][illegible]

